



日本共産党 品川区議会議員 区政報告 のだて 稔史

区政報告について
ご意見、ご要望を
お寄せください。

事務所：品川区豊町6-2-1 Tel：03-3786-6674
区議控室：品川区広町2-1-36 Tel：03-5742-6818

大深度地下工事、調布市で陥没

リニア新幹線は大丈夫？



▲北品川非常口の立坑工事写真。既に立坑工事は完了。

10月18日、調布市の住宅街で東京外郭環状道路の大深度地下工事を行っていた真上で陥没事故がありました。同じ工事で品川の地下にもリニア新幹線のトンネル工事が進められています。

陥没前から振動、ひび割れ

陥没事故の周辺では1か月以上前から毎日振動があり、住宅と道路の間に段差が生じる、外壁やブロック塀に亀裂が走るなどの被害が続出し

ていました。

その声を聴き、共産党は現地調査を行い、国交省に工事停止と地盤調査を求めています。工事は強行され陥没事故が起きました。

リニア…4月掘進予定

品川ではリニア新幹線のトンネルが掘られようとしています。今回陥没事故があったのと同じ大深度地下工事によるものです。

これまでは北品川非常口の立坑工事を進めてきましたが、現在シールドマシン（掘削機）の組み立てをしています。

来年4月から名古屋方面に向かって掘り進める予定になっています。品川区内で同様の事故が起きないとも限りません。

リニア新幹線の工事でも振動やひび割れなどがありましたら、ぜひご相談ください。

ウラへ続く

のだて稔史プロフィール

1985年品川区生まれ、35歳。八潮北小、八潮中、都立雪谷高校、東洋大学工学部建築学科卒。建築設計事務所で6年間働く。2015年4月初当選。戸越5丁目在住。家族は両親と兄。シブリ映画、バドミントン、テニスが好き。

施工ミスが発覚

陥没の大きさは5メートル×3メートルの深さ5メートルの大穴です。

シールドマシンは9月14日に陥没地点の地下約47メートルを通過していたことがわかっています。

9月中旬、陥没地点付近で地盤のれき層（砂利の層）の影響でシールドマシンのカッターが重くて回らなくなり、掘り進めなくなる重大トラブルが起きていました。

カッターを無理に正逆回転やカラ回しさせたことにより地上の振動につながったと推測されます。

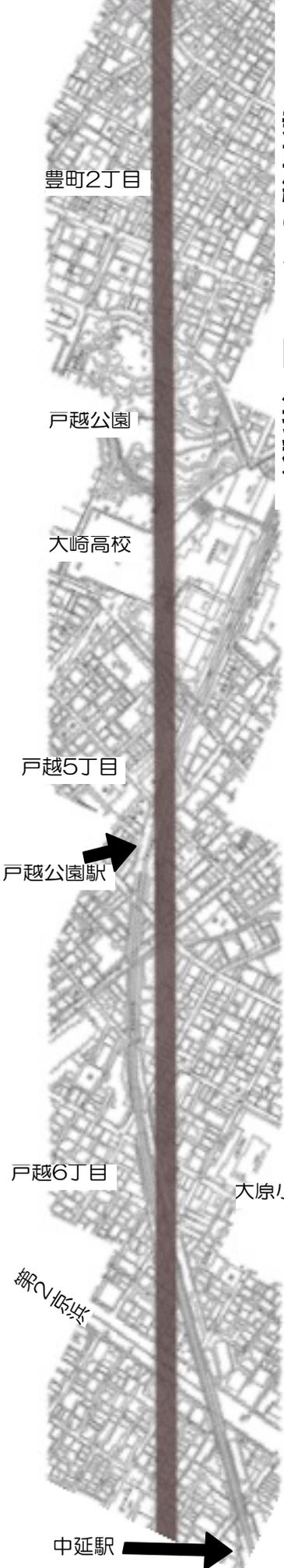
この時に土砂を取り込みすぎで陥没をもたらした可能性があります。

こうした施工ミスが原因だとすれば、地上に影響が及ばないことを前提に用地買収や地権者同意の必要がないとする、地下40メートルより深い大深度地下法による掘削工事は前提が崩れることになりそうです。

以前から住民は問題を指摘し、事業の中止を求め、差し止め訴訟なども行っています。

リニアの工事は同様の危険性が予測され、事業費が9兆円もかかり、莫大な電力を必要とするもので中止にこそすべきです。

リニア新幹線のルート図（抜粋）



▲12月15日、2021年度の予算要望を提出。副区長など3名が対応しました。コロナ対策や少人数学級、超高層や29号線など開発優先から福祉充実への転換を求めました。

▼12月14日、毎月定例の道路問題しながわ連絡会の区役所前宣伝に参加。29号線整備よりもコロナ対策をと訴えました。



無料

法律相談

1月12日(火) 午後6時～8時

会場：のだて稔史事務所 豊町6-2-1

お気軽にご相談下さい。

弁護士と一緒にお話を伺います。

できるだけ事前にご連絡下さい。

TEL 3786-6674

日本共産党